



『We 鏡中』

令和8年 5月 23日

☆≧ 「役割を果たす」ということ

5/23(土)の4限目は体育大会の準備の時間でした。部活動単位で実施が多かったのですが、パネルの準備からテント設営、石拾い、外トイレの掃除等まで、役割分担された仕事を一生懸命にする生徒が沢山いました。写真は小学校グラウンド準備の全景と石拾いを頑張っている生徒の写真です。



大変な作業を黙々としている生徒を見て、こうやって人知れず仕事をする人がいることで、社会は正常に回っているのだと改めて感じました。

私は「役割」を果たすことの大切さを生徒には学んでほしいと思っています。学校での当番活動や係活動は、「仕事とは何か」を実感する第一歩です。なりたい職業を夢見ることは素晴らしいですが、同時に、ほかの人がやりたくないことをすることも、仕事を理解するために必要です。みんなが「面倒くさいなー」「いやだなー」と感じることを、つらくてもやり抜くからこそ、人から感謝され、お金を頂くことが出来ます。人の役に立ち、その対価をいただくということが職業として成立する大原則です。

人の役に立つために何かをする経験を積むことは、将来どう生きていくかを考えるうえで、とても大切です。ボランティア活動の体験も大切ですが、同じように当番活動や係活動などを通して「役割を果たす」体験も重要です。

日常生活でも、欠席連絡表の記入、牛乳当番、図書カウンター当番等々を生徒は日々実践し、「役割を果たし」ています。そして「役割を果たす」実践を通して学んでいると思います。

私自身は、社会の歯車になることは嫌だなと思っていた時期がありました。ですが今は違います。大きな歯車になったり、小さな歯車になったり、時には歯車を動かす動力源になったり、その場、その時に応じて、自分の「役割」を果たすことが大切だと実感しています。時には、その歯車等が入っている箱になって、歯車や動力源を守る「役割を果たす」ことや歯車を滑らかに動かすための潤滑油になることも必要なのだと思っています。

本校の教育目標「We Love ♡ 鏡中」は、社会にどうやって貢献するかを考え、行動できる人になるための目標です。ボランティア活動も日々の「役割を果たす」ことも、目指すところは同じです。今後も、生徒たちと一緒に学びたいと思います。

明日の体育大会でも、多くの生徒が自分の「役割を果たし」て、体育大会を成功に導いてくれると信じています。